

中田行 こだま

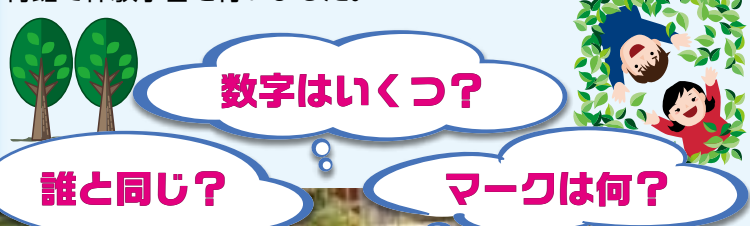
真剣。

第262号 令和元年9月2日発行

和菓子づくり体験（修学旅行）	1
1年生校外学習・2年生林間学校	
PTA親善ソフトバレーボール大会	2・3
3年生修学旅行	4・5
特集『70年の時を越え～今、そして未来へ』シリーズⅡ	
どうなる??どうする!?行田中の未来。	6・7
PTA活動・家庭教育セミナー・行中連・表彰者	8

1年生 校外学習 5/13 in 神川げんきプラザ Let's make new memories.

さわやかに晴れた良い天気恵まれ、1年生が「アドベンチャー教育プログラム」として、各班ごとに分かれ、野外・体育館で体験学習を行いました。



《カードゲーム》

クラスの交流を深めた一日
1学年主任 鈴木敏道
パイプライン、ジャイアントソーなど、集団のゲームを通して、始めはモジモジしていた生徒が、時間を追うごとに、どんどん変化していききました。課題を達成できたときには歓声が上がり、友達への声援、みんなで見えを出し合うなど活動的になりました。スタッフの人が、「よい生徒さんですね」と褒めてくれました。



《ターザンロープ》
しっかりキャッチして!



《ロープ歩き》 もっと、こっちーへ

楽しく学べた 校外学習
実行委員長 山崎詩桜
今回の校外学習で、私は実行委員長として、活動させていたいただきしました。1年生全員が協力して、楽しく活動できたと思います。そして、友達との絆も深めることができました。この校外学習で、私たちは、たくさん学びました。これらの中学校生活に生かして、頑張っていきたいです。



《パイプライン》

走って、急いぞ!
ミッション!!
ビー玉をゴールへ運べ

2年生 林間学校 in 長野 5/14~16 絆を深め輝く思い出の為 頑張れ!自分

～悪天候のなか、全員で励まし・助け合いながら、楽しく過ごすことができました～



林間学校を振り返って
実行委員長 池崎蒼空
林間学校を全員の輝く思い出にするために、多くの会議をして準備を万全にしました。当日はみんなで協力し、大幅に時間を短縮できました。農業体験では命の尊さについて学び、山登りでは互いに声をかけ合うことで、困難を乗り越えられました。この行事で深めた絆を生かして、思いやり精神を大切に学校生活を送りたいです。



《マスをつかみ取り》



《農業体験トラクター》



《乳しぼり》



《うちわ作り》



《車山 登山》

山頂めざして一歩ずつ...、頑張れ!!自分

レタスって大変!

輝く思い出のページ
2学年主任 岡戸美樹子
農業体験では、乳牛の短い命の理由を学んだ上で乳搾りをし、生け捕りのマスをその場で焼いて食べるなど命の学習をしました。6時間を超える車山ハイキングは精神的にも厳しいものでしたが、声をかけ合いながら全員でゴールすることができました。様々な体験から、また一回り大きく成長することができました。



2位 3年1組



優勝 3年3組



3位 3年2組



サーブ

アタック!

PTA会長賞 2-2
安藤校長賞 2-1



オオー 優勝するぞ!

お昼休憩
午後の試合にむけ、リラックスタイム

3回目のソフトバレーボール大会!!
強かった3年生チーム
体育部長 高橋 里依
行田中恒例のPTA親善バレーボール大会が行われました。各クラスとも初心者の方から経験者の方まで、みんなが楽しそうにプレーしていたと思います。審判員の方々ははじめ、お忙しい中、参加していただいた先生方、PTAの皆様、OB・OGチームに心より感謝申し上げます。

熱き戦い、好試合続出! 全クラス頑張りました!! PTA親善ソフトバレーボール大会 6/8

ぐずついた天気とは対照的に、コートには声援と歓声、そしてボールを拾い、打つ、接戦が繰り広げられました。気持ち良い汗を流し、交流を深められた大会となりました。





東映太秦映画村



奈良



奈良名物！
大仏サイダー&大仏プリン



1組



もみじ完成～♪



和菓子づくり体験&嵐山散策



御利益大明神

私たちの3年生は、修学旅行で京都・奈良へ行きました。私が一番印象に残ったのは、建仁寺のお坊さんの法話です。一日一日を大切に過ごしたいと思うようになりました。そして、2年生の時から準備を頑張った修学旅行ですが、記憶に残る良い思い出になりました。修学旅行を通して学んだことを、これからの生活に繋げていきたいです。

実行委員長
綿貫 茉凜

3学年主任
寺田 幸司

天候にも恵まれ、古都、京都奈良で多くのことを学んだ3日間。歴史的建造物の迫力に目を奪われ、その感動を心に刻みました。また、班別自主研修では、ルールやマナー、時間、そして仲間への気遣いなど、多くの大切なことを学んだ活動となりました。修学旅行で得た様々な学びや思い出を忘れずに、今後の生活に生かしていただきたいと思います。

記憶に刻もう！ 青春の旅

教科書の中だけでは感じることのできない古都の魅力や歴史を肌で感じ、仲間と協力しながら素晴らしい思い出をつくることができました。

3年生 修学旅行
5/13(月)～5/15(水)



興福寺五重塔



座禅体験



2組



伏見稲荷大社&平等院鳳凰堂



仲良し♡



学校再編成について お話を伺いました



行田市教育委員会 教育総務課長
諸 貴 忠 秋 さん

五月下旬に学校再編成の説明会が開かれましたが、あらためて教育委員会にて、お話を伺いました。

複式学級解消のため、学校の再編成が必要とのことです。複式学級のメリット、デメリットを教えてください。

「少人数は先生の目が届き易い、学校と保護者の距離が近い、というメリットはあります。複式学級は先生は一人なので、複数の学年を一度には教えられず自習時間が増えてしまいます。グループ学習するにも、グループが少なく意見の交換が難しくなり、また集団競技が実施しづらくなるなど、デメリットがあります。大人数である必要はありませんが、子どもたちがいろんな意見を持つ人間同士のコミュニケーションの中で、教育を受けることが出来る環境が必要だと思っています。」

現在の再編計画の変更や中止はあるのでしょうか。また私たちに意見がある場合、どう対応していきますか。

「計画の根本部分の変更は難しく、ご理解頂きたい面もあります。地域協議会等の場で意見を聞き承りただければ、具体的な部分を地域や保護者の皆さまと話し合いを重ねて、決めていきたいと考えています。」

部活動は、学校によって種目を決めて、例えばある地区は野球、別の地区はサッカーとか、実施するのでしょうか。

「理想は子どもたちの選択肢が用意できる規模を確保するというのが一番いいことかと思っています。一クラスしかない学校では団体競技をいくつも編成するのは難しくなっています。どの部活を設置するかは校長先生の判断になります。将来的に市内四つの中学校で三クラス以上を確保する

組み合わせとなっています。」

子どもが集まらなくてチームが出来ないこともありますか？

「現状でも学校同士で合同のチームを作ることは可能です。逆に枠を作らない方が柔軟に対応できるかなと思います。」

PTA組織はどうするのでしょうか。

「分離型の小中一貫校は、小学校、中学校はそのままで、PTA組織はそれぞれ別に存続します。ただ一貫校なので一緒にできる活動があれば、小中交流や協力して共同活動してもいいと思います。」

小中分離型の場合、現状とあまり違いが無いように感じますが？

「今回の再編で行田中では南小と下忍小に、通学区を集約していく必要があると思っています。また小中一貫というのは小学校・中学校の枠を越え、これが学年ごとにどういった勉強に繋がっていくのか、先生方もそれを意識して教えていく、というのが一番大きいのかと思います。」

小学校、中学校の先生でそういった講習を受けたりするのですか？

「すでに複数の学校で、小中一貫の研究を何年か進めて来ています。」

小学校が終わる時に引継ぎとか？

「勉強もそうですし、子どもたちの個性とか、小中一貫で連携が進むことによりさらに引き継いでいけると思います。」

南部地域は、埼玉から星宮まで学区となり、「地域の実態に合わせた特色ある取組み」には違和感があります？

「遠い地域の交流はちよつと難しいですが、隣接している地域の繋がりはあると思うんです。お城があったり、足袋があったり、歴史的な物が残っている地域で、そういった地域の特色を学校の中に生かしていく。地区ごとに子どもたちをどう育てていくか、それを全体で一緒に考えて

いく必要があると思います。」

例えばお祭りという、火祭りは埼玉の子だけでやっているのですが、行田中の子に参加してもらうとか？

「そうですね。天神様のお祭りに星宮の子が出たりとか可能になると思います。子どもの数自体が減ってくると思わいつていうのが無くなってくると思うんです。学校として地域に何が貢献していけるか、今はお付き合ひの無い地域も学校を通して、地域全体として考えていく機会を増やしていかなければならないと思います。」

北河原小と南河原小の統廃合では、実際に至りませんでしたか？

「複式学級の再編だけを計画し長期的な計画をしていなかったため、再編の将来的展望を示せなかったこと、またバス通学などの詳細も決めていなかったたので地域の人に不安を与えてしまいました。」

バス通学について話が出ましたが？

「バスを出すことは決まっていますが細かいことは決まっています。中学生は部活動があるので難しいですが、地域によっては利用できるよう検討していきたいと思っています。」

静岡県では、議会で学校再編成計画が中止になったニュースがありましたか？

「計画が中止になると、本当に必要なところに予算がかけられなくなることも生じます。子どもたちのことを考えた学校再編なので、議会にも地域や保護者にもご理解いただけるように説明していきたいと思っています。」

行田中広報部保護者として、「今後、春日部市や飯能市などの視察の情報を伝えてほしい。視察の際に小中一貫後のPTA活動についても情報を頂きたい」とお願いしインタビューが終了しました。

どうなる?? どうする!?

行田中の未来。

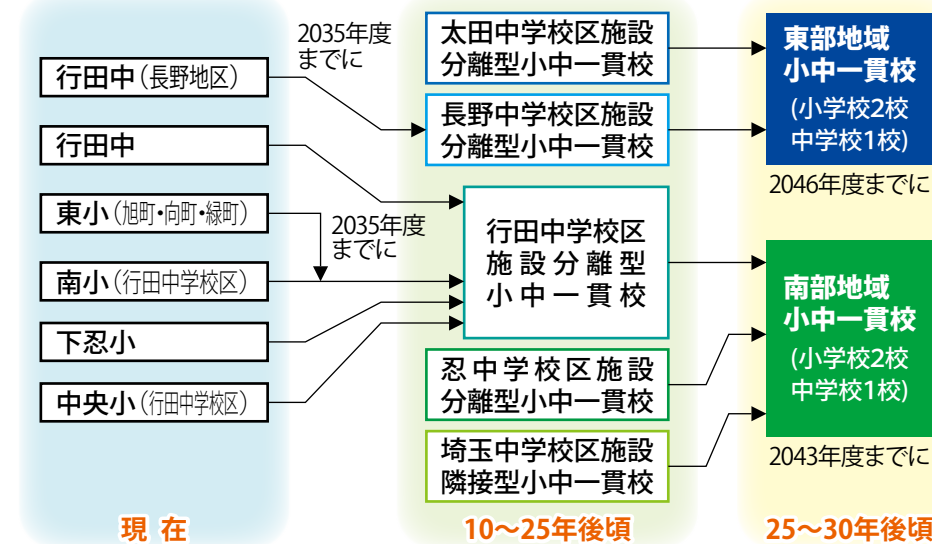
～学校再編成問題を考える～

日本が抱える社会問題の一つ、少子高齢化。私たちの行田市も昭和60年をピークに、急速に児童生徒数が減少しています。子どもが減れば、先生も減り、学校の維持が難しくなります。現在、2つの小学校で複式学級が編成され、数年後には4校に増える見込みです。教育委員会は複式学級と教育問題の解決のため学校再編成計画を策定し、実施に向け動き出しました。行田中の再編成はまだ先ですが、その先の2043年には建替年度となります。学校施設や土地の利用は地域住民にとって大きな問題です。将来の保護者(もしかしたら卒業生や在校生)や地域住民にとって、より良い学校再編成となるようこの問題を取り上げました。

なぜ小中一貫教育? ～学校再編成が求められている背景～

少子化による複式学級の解消なら、統廃合で良いのではと思っていました。今回、教育委員会の説明を聞き、現在、学校教育のさまざまな課題として、中学校進学時に新しい環境での学習や生活に不適應を来す「中1ギャップ」が増加傾向にある、義務教育9年間を見通した目標が示めされ系統性・連続性に配慮した教育が求められている、小規模化による教育上の弊害の顕在化などがあると知りました。また10年前に策定した学校再編成計画の反省を踏まえ、これらの課題解決のために小中一貫教育の推進と、小中学校の学級等の規模と配置の適正化を進めたいとの考えを理解することができました。

行田中学校区の再編の流れ



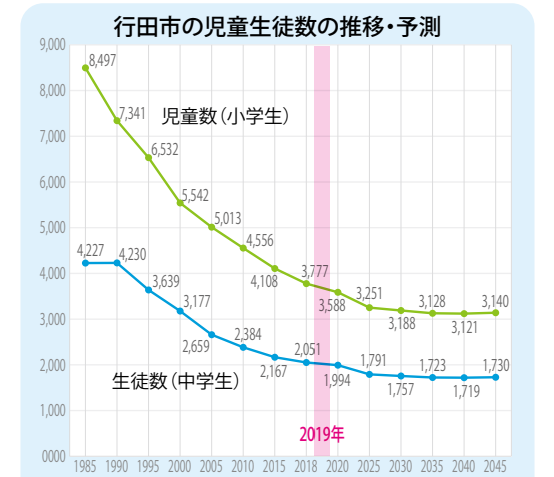
「地域とともにある学校づくり」の観点から地域と通学区を一致させる

現在3校に分かれている佐間地区のうち、東小に通っている旭町・向町・緑町は2035年度(東小の建替え)までに南小へ編入する予定です。これは東小が将来、東部地域となるためです。中央小は南部地域のため変更はありません。

今、行田中へ通っている長野地区は、2035年度までに設立される長野中学校区小中一貫校へ編入予定です。

将来は東西南北の4つの地域に再編する

将来的に中学校を現在の8校から4校、小学校を13校から7校に再編し、各地域に小中一貫校を設立する予定です(右図)。また中学校は教科担任制のため9教科の先生を配置するには、1学年3クラス以上とすることが必要です。そうすることで、クラス替えが出来る、部活動の数が増える、各校の児童生徒数の平均化が図れる計画となっています。



第2次ベビーブーム世代(1971～1974年生)が中学校を卒業した1990年以降、児童生徒数は減少し、今はピーク時の約2分の1以下です。行田市では現在、人口減少対策に取り組んでおり、将来の児童生徒数はこの対策の目標値から予想した数値です。また国立社会保障・人口問題研究所の推計では、2035年に児童数2,481人・生徒数1,328人、26年後の2045年には児童数1,992人・生徒数1,070人となっていて、現在の半分程度に減る予想です。



ご質問・ご意見募集中!

学校再編成の記事に対するご質問・ご意見を募集いたします。メールは下記まで。
saihen.koho@gmail.com

長い道のりは、今、始まったばかり

五月下旬、南小学校の運動会を見ました。我が子を通っていた五年くらい前と比べると、三色あった団は青と赤の二つになり、こじんまりとした印象でした。学校の統廃合は過疎の村のことではなく、もはや身近なところまで来ていることを実感しました。これからの子どもたちをどう育てていくのか、教育の場をどう維持していくのか。今を生きる大人たちに課せられた問題です。限られたリソース、時間の中で、個々のノスタルジーに囚われること無く、解決しなければなりません。また学校施設や跡地の活用は、地域にとって大きな問題です。卒業してから無関係ではありません。この地域に生きる皆さんと一緒に、知恵を出し合っていけたら良いと思います。(鈴木・今泉)

教育委員会も広報しています!

学校再編・小中一貫教育より「温故創生」は、生徒を通じて配布しています。また回覧板・WEBでもご覧いただけます。

PTA総会・掲額式・歓送迎会 5/17 (金)

総会後は、退職された柏瀬前校長先生・退任された岡部前PTA会長（現・顧問）の掲額式が行われました。柏瀬前校長先生は、PTAや地域にも活力を与え、本校を去られる直前、花壇にチューリップの球根を植え、色とりどりの花々が新入生を出迎えたことから、行田中愛・生徒愛を強く感じられました。

岡部前会長は、お忙しい中でも、すべてのPTA活動に気配り目配りされ、長きにわたり行田中のPTA活動を先導してこられました。現在も、顧問としてご活躍されています。

そして、同日行われた歓送迎会では、今年度着任の先生方をお迎えするとともに、行田中を去られた先生方、PTA役員を卒業の皆さんとの別れを惜むあたたかいひとときとなりました。



ご退職・異動になられた
先生方、PTA役員
卒業の皆さん



柏瀬前校長先生・
岡部前PTA会長
掲額式

PTA除草 7/6 (土)



「令和」初のPTA除草

厚生部長 小島利枝

梅雨空の中、予定を30分繰り下げPTA除草を行いました。生徒たちは、部活の仲間や先生と和気あいあい草をむしり、校長先生をはじめPTA役員も気持ちのいい汗をかきながら作業し、校内がきれいになりました。

家庭教育セミナー 第1回 6/22 (土) 第2回 7/27 (土)

第1回 調理実習「和菓子づくり」

講師：高橋 隆 先生
VIVAぎょうだ調理室にて



第2回 講話「子供のやる気を出させる コミュニケーションのとりかた」

講師：元朝霞市立朝霞第二小学校長
加藤美幸 先生



2回のセミナーを終えて
文教部長 荒井美香
第1回の講話では、和菓子づくりを通して、講師の先生に丁寧にご指導いただき、美しくおいしい和菓子が出来上がりました。
第2回の講演では、子どものやる気を出させるには、どのように接していけばよいかを学び、とてもためになるお話を聞きました。皆様、ありがとうございました。

浮き城まつり 7/28 (日)

緑と白のうちわを片手に、軽快な「行中ジャンプ」を高々に今年も「だんべ踊り」を披露しました。



行田市における学校再編成について、教育委員会へ取材に行ってきました。行田として、子どもたちの未来を考える良い機会になりました。学校再編成に向け多くの方の意識が高まるよう、行田中広報部はこれからも積極的に取材を続けていきたいと思います。

編集後記

第58回埼玉県硬筆展

優良賞 山崎 詩桜

令和元年度通信陸上競技大会(埼玉県大会)
1年男子 100M 第5位 田中 流衣

テニス女子団体

令和元年度学校総合体育大会
テニス女子個人ダブルス

山崎 楓蘭・野辺たま希
テニス女子個人ダブルス
山崎 楓蘭・野辺たま希
市川 優花・今園 舞彩
栗藤 明里・根岸奈々子
野辺たま希・青木 美雨
加相 沙和・坂口 文月

令和元年度学校総合体育大会陸上競技
1年男子 100M 第1位 田中 流衣
1年男子 1500M 第1位 大竹理玖斗
男子 110M H 第1位 中澤 綾斗
女子走高跳 第1位 荻原 花梨
女子 200M 第4位 小池 佑希
女子 4x100M 第4位 小池 佑希
女子 200M 第4位 小池 佑希
3年女子 100M 第5位 小池 佑希
女子走高跳 第3位 荻原 花梨
男子 110M H 第4位 中澤 綾斗
2年男子 100M 第3位 船橋 流空
1年男子 100M 第2位 大竹理玖斗
1年男子 1500M 第2位 平野 孝耶
1年男子 100100M 第1位 田中 流衣

《県大会出場者》

1学期の主な表彰

令和元年度行田市通信陸上競技大会

1年男子 100M 第1位 田中 流衣
1年男子 1500M 第1位 大竹理玖斗
男子 110M H 第1位 中澤 綾斗
女子走高跳 第1位 荻原 花梨